

令和6年度 No. 2

# 中南の社会教育

令和6年8月22日発行



中南管内で、夏休み期間を活用した事業が様々開催されています。普段の学習では味わうことができない内容となっている事業が多く、こどもたちは貴重な体験をしています。

今回は、弘前市教育委員会が主催した医療関係の事業、「来て・見て・学ぼう！医療福祉体験」と、「メディカルスタッフについて学ぼう」の様子を御紹介します。

中南教育事務所 主任社会教育主事 秋谷 啓児

## 弘前市 「来て・見て・学ぼう！医療福祉体験」【令和6年8月7日（水）】

中学生を対象に、看護師を目指す看護学科、リハビリテーションを担う作業療法学専攻や言語聴覚学専攻、命を救う救急救命学科、歯科での活躍を目指す口腔衛生学科について体験学習を行う、「来て・見て・学ぼう！医療福祉体験」が弘前医療福祉大学・短期大学部で開催されました。

現役の大学生が講師となり、参加した中学生に直接指導したり、大学での学びやそれぞれの職業について詳しく説明したりしました。3つの学科で体験学習をした後、中学生と大学生との懇談会が行われ、参加した中学生は学校生活や就職に向けた話を真剣な眼差しで聞いていました。

実際に体験をするだけでなく、現役の大学生と交流することができたので、参加した中学生は医療福祉について身近に感じながら有意義な時間を過ごしていました。

中学生の段階から、医療福祉を学べる場所が身近にあることを知ってもらえることができるので、青森県の課題でもある「若者の地元への定着」への一助にもなる事業内容になっていると感じました。



## 弘前市 「メディカルスタッフについて学ぼう」【令和6年8月8日（木）】

中学生を対象に、弘前大学医学部保健学科（看護学専攻、放射線技術学専攻、検査技術学専攻、理学療法専攻、作業療法専攻）と医学部心理学支援学科による、「メディカルスタッフについて学ぼう」が弘前大学大学院保健学研究科で開催されました。

メディカルスタッフとは様々な職種の医療専門職を指し、参加した中学生は、看護師・放射線技師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士のほか心理支援職も含めた担当者からの説明や施設見学、実習体験を通して、メディカルスタッフについて幅広く学んでいました。保健学科（5つの専攻）と心理学支援学科について詳しく知ることができる内容となっており、メディカルスタッフを目指す中学生にとって有意義な時間となりました。

学科ごとの意見交換では、教官からは実際の仕事内容を、学生からは授業内容や学校生活について詳しく聞くことができ、参加した中学生の中には、現実的な進学先として捉えている生徒がいるように感じました。参加した中学生には、この事業で学んだことを大切に、是非メディカルスタッフを目指してほしいと思いました。

